

# 令和2年度 中間市特別会計国民健康保険事業決算

## 概要

令和2年度特別会計国民健康保険事業の決算は、予算額5,861,532千円に対し、歳入4,852,799千円、歳出5,625,500千円、差引772,701千円の赤字となりました。

また、歳出の前年度繰上充用金を除く単年度収支は、138,073千円の黒字となりました。

単年度収支が黒字となった要因は、歳入のうち、療養費等に充当される普通交付金が約8,600万円の過大交付となったことが大きな要因であり、国保財政の根本的な改善には至っていません。なお、普通交付金の過大交付分は、令和3年度で精算する予定となっており、令和3年度の単年度収支に大きく影響する可能性があります。

平成30年度から国民健康保険財政の運営を都道府県単位で行っていますが、令和3年度の国保財政につきましては、歳出の約20%を占める国民健康保険事業費納付金（福岡県への各市町村からの納付金）は医療費の減少に伴い減額となっておりますが、令和2年度普通交付金の精算による歳出増、新型コロナウイルス感染症に係る保険税減免への財政措置の縮小に伴う歳入減等により厳しい状況となることが想定されます。市は引き続き資格管理、保険給付、保険税率の決定・賦課・徴収及び保健事業等を担っており、今後も、国民健康保険税の徴収強化により財源の確保に努め、保健事業の充実により、市民の健康増進を推進することで医療費の適正化に取組み、福岡県と連携し国民健康保険財政の健全化を図っていきます。

### 1. 特別会計国民健康保険事業の決算状況

区 分	R2年度 (千円) A	R1年度 (千円) B	差引 (千円) C = A - B	前年度比 (%) D = C / B	備考
歳入合計	4,852,799	4,901,376	△48,577	△1.0	
歳出合計	5,625,500	5,812,150	△186,650	△3.2	
歳入歳出差引	△772,701	△910,774	138,073	△15.2	
単年度収支	138,073	38,658	99,415	257.2	※1

※1 単年度収支＝歳入合計－（歳出合計－前年度繰上充用金）。前年度繰上充用金の額は、令和2年度は910,774千円、令和元年度は949,432千円。

### 2. 人口等にしめる国保被保険者の状況（各年度の3月31日現在。外国人を含む。）

区 分	R2年度 A	R1年度 B	差引 C = A - B	前年度比 (%) D = C / B	備考
全人口 (人)	40,756	41,287	△531	△1.3	
国保被保険者数 (人)	9,938	10,232	△294	△2.9	
全人口に対する国保加入率 (%)	24.4	24.8	△0.4	△1.6	※1
全世帯数 (戸)	20,515	20,560	△45	△0.2	
国保世帯数 (戸)	6,514	6,624	△110	△1.7	
全世帯数に対する国保加入率 (%)	31.8	32.2	△0.4	△1.2	※2

※1 全人口に対する国保加入率＝国保被保険者数／全人口

※2 全世帯数に対する国保加入率＝国保世帯数／全世帯数

### 3. 令和2年度国保税徴収実績

区分1	区分2	調定額(千円) A	収入済額(千円) B	徴収率(%) C = B / A	備考
一般被保険者分	現年課税分	808,036	776,448	96.1	
	滞納繰越分	136,891	39,053	28.5	
	計	944,927	815,501	86.3	
退職被保険者等分	現年課税分	-	-	-	
	滞納繰越分	166	132	79.5	
	計	166	132	79.5	
合計	現年課税分	808,036	776,448	96.1	
	滞納繰越分	137,057	39,185	28.6	
	計	945,093	815,633	86.3	

### 4. 保険給付費(表中歳出科目の「一般」は一般被保険者、「退職」は退職被保険者等の略)

歳出科目	R2年度(千円) A	R1年度(千円) B	差引(千円) C = A - B	前年度比(%) D = C / B	備考
一般療養給付費	2,837,561	2,964,970	△127,409	△4.3	
退職療養給付費	99	1,549	△1,450	△93.6	
一般療養費	33,922	37,310	△3,388	△9.1	
退職療養費	0	0	0	—	
一般高額療養費	413,718	425,293	△11,575	△2.7	
退職高額療養費	0	68	△68	皆減	
一般高額介護合算	215	161	54	33.5	
退職高額介護合算	0	0	0	—	
出産育児一時金	21,231	16,347	4,884	29.9	※1
葬祭費	1,710	1,770	△60	△3.4	※2
合計	3,308,456	3,447,468	△139,012	△4.0	

※1 1件当たりの支給額は420千円(産科医療補償制度対象外の場合は404千円)

支給件数は、令和2年度は51件、令和元年度は39件

※2 1件当たりの支給額は30千円

支給件数は、令和2年度は57件、令和元年度は59件

### 5. 国民健康保険税減免の状況(新型コロナウイルス感染症の影響による減免)

新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少が見込まれる世帯のうち、一定の要件を満たす世帯について、令和元年度及び令和2年度の国民健康保険税の減免を行いました。この減免額につきましては全額国の財政措置の対象となります。

#### 令和2年度新型コロナウイルス感染症に係る減免実績

対象年度	世帯数(世帯)	減免額(千円)
令和2年度	113	20,639
令和元年度	88	2,843
合計	201	23,482

※世帯数合計は延べ数となります。

## 6. 国保財政の健全化に向けた取組み

- (1) 生活習慣病の早期発見・重症化予防を目的として、平成 20 年度から特定健康診査・特定保健指導を行っています。特定健診等実施計画に基づく実施目標の達成に向け、健診案内の個別通知や特定健診未受診者への受診勧奨を行い、市民の健康づくりを進めています。さらに健診結果のリスクに応じて、特定保健指導や結果説明会の開催、訪問指導等を行い、重症化予防に努めています。
- (2) ジェネリック医薬品利用促進のため、ジェネリック医薬品希望カードを市役所健康増進課窓口を設置しています。また、平成 23 年 11 月から、ジェネリック医薬品を使用した際の薬剤費の差額を示した「ジェネリック医薬品差額通知」を送付しています。ジェネリック医薬品を希望する人の増加に伴い、薬剤費は削減されており、更なる周知により薬剤費の削減を促進します。
- (3) 医療機関からの誤請求等による医療費の過払いを防ぐため、レセプトを全件点検する業務を行っています。令和元年度は点検により 30,227 千円の保険給付費を削減しました。